

## 事業所における自己評価総括表

保護者等数(児童数) 50名(49名)

○事業所名	ステラ名駅東校		
○保護者評価実施期間	2025年2月3日	～	2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	対象者数 50名	回答者数 49名	
○従業者評価実施期間	2025年2月3日	～	2025年2月22日
○従業者評価有効回答数	対象者数 12名	回答者数 12名	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

### ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員と子ども1対1のマンツーマンで療育を行うことで、本児に合わせた内容で支援できる。	個々の発達段階や保護者の思いに沿って個別支援計画を作成している。使用する教材や環境設定を個々に合わせて変えている。	園等での集団における様子や、家庭内の様子などの情報を得て、様々な一面をして支援に反映させていく。
2	支援中の様子を保護者は別室にてモニターで観察することができ、支援内容等を理解していただける。	支援中の課題の意図や家庭でできる取り組みを説明している。保護者に家庭や園での様子の聞き取り、困りごとの対応を一緒に考えたり提案したりしている。	保護者の方が話しやすい環境作りにも努めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	個別での支援が主なため、集団での様子が把握しにくい。	利用児の集団生活での情報が少ない。	要望に合わせて、園訪問等を行い情報の収集や共有を図っていく。
2	支援内容をモニターで観察することができるが、死角となる部分があるため、内容が分からない活動がある。	カメラの設置場所。	課題の活動内容や意図を説明したり、授業後、保護者に教室に入室していただいて見ていただいたりする。保護者にも課題を体験する機会を設ける。
3			